

鶴ヶ岡振興会がリーダーシップを発揮し、タナセンや住民の皆さんと力をあわせ、生活基盤の充実・住みやすい環境づくり・魅力あるまちづくりを計画的に進める。

地域の目指す将来像

1. にぎわう地域づくり（人口を増やす）

鶴ヶ岡地域の住環境等の整備を図るとともに、空き家活用プロジェクト会議と連携し、地域の受入体制の構築や、積極的な情報発信に努め定住促進を図る。

- ①空き家活用プロジェクト会議や旧鶴ヶ岡小学校活用室と連携して、U・Iターン者向けの情報発信の充実に努める。
- ②「ふるさと応援隊」等の地域外の組織との協働を図り、地域のPRに努める。
- ③教育民泊や都市との交流を通して関係人口を増やし、定住促進に繋げる。
- ④鶴ヶ岡中心地整備構想の推進によるにぎわう地域づくりを推進する。

2. やすらぐ地域づくり（住み続けられるまちづくり）

誰もが生きがいを感じ、安心・安全に暮らせるように、高齢者の交通手段の確保、医療・福祉の充実など、タナセンと連携して地域の生活環境基盤等の整備に努める。

- ①避難施設、避難路の整備等、生活環境基盤整備を進め、災害に強いまちづくりを行う。
- ②高齢者等無償輸送サービスの充実を図り、高齢者等の移送手段確保に努める。
- ③ふるさとサポート便等による生活支援体制の充実や、各世代・地域が助け合いつなげる地域づくりを目指す。
- ④高齢者が自ら行う事が困難な生活課題に対し、地域で支え合える体制を構築する。

3. かがやく地域づくり（地域の所得を増やす）

地域資源を有効活用するとともに、特産品の開発や都市農村交流で生まれるつながりを生かした流通促進、また、基幹産業である農林業の振興を目指した営農基盤整備を進めることで、地域の所得向上と就労機会の創出を図る。

- ①空き家活用プロジェクト会議と連携し、生産・加工販売施設、農家レストランなどを創設・整備し、地域の所得向上を図る。
- ②「ものづくり教室」を充実させ、高齢者の生きがいを創出するとともに新たな特産品の開発につなげる。
- ③収穫祭（農林産物品評会・手づくり産品即売会）等交流イベントをとおして、生産意欲の向上と特産品の販路拡大につなげる。
- ④地域資源を活用した加工食品の開発・販売戦略を展開する。
- ⑤農業用施設や獣害防護柵の維持管理、農地の効率的な活用による生産基盤の向上を図り、地域で支え合う営農体制を構築する。

4. うるおう地域づくり（美しい景観・環境を守り育てる）

里山づくりや花木などの植栽や自然景観を活用した観光資源の開発を行うことにより、美しい農村景観をかけがえのない財産として守り育てる。

- ①明るく開放的な里山景観を創出するとともに、風雪害での倒木によるライフラインの断絶を防ぎ、野生鳥獣とのすみわけを行う。
- ②サクラ・モミジ・アジサイ・ツツジ・水仙等を植栽し、四季折々の彩りある美しい集落景観を創出する。
- ③畦畔・道路沿いの除草や休耕田の管理等、農地保全対策を講じる。
- ④貸し農地や貸し農園、観光農園等を設け、遊休農地の活用を検討する。
- ⑤里山体験学校や農林業体験学校等を実施し、景観・環境の次世代の担い手を育成する。
- ⑥伝統文化を継承していくため、保存会等の設立により一括した保存方法を検討する。

5. つながる地域づくり（みんなが関わるまちづくり）

将来にわたって住みよい地域を次の世代へ引き継ぐため、世代・性別・職種によらず多様な個性・特技が最大限発揮できる仕組みを構築する。

- ①振興会と各団体等との更なる連携強化を図る。
- ②幅広い層が課題を共有し、マンパワーを有効活用できる組織体制を構築する。
- ③地域振興計画を推進するため必要に応じてプロジェクトチームや委員会を設置し、意見やアイデアを募集することにより住民の意識の高揚を図る。